

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
新発田市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				現行の経営体制を継続
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		○					

### 抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等						
実施済	○	<b>(実施類型)</b>		<b>(取組の概要及び効果)</b>		<b>(実施(予定)時期)</b>	
		汚水処理施設の統廃合	汚泥処理の共同化	特環紫雲寺地区の汚水を胎内市(中条浄化センター)にて共同処理開始(H18年度)し、処理場建設経費2,400百万円、年間運営経費51百万円の削減となった。農排(大島・住田)地区の汚水について、単独特環(加治川浄化センター)へ接続を実施(H24年度・H28年度)し、農排処理場年間運営経費12百万円×2箇所削減となった。		平成	18
維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)	4	1				
実施予定			○			年	月
検討中		<b>(取組の概要)</b>		<b>(検討状況・課題)</b>			